

スピーカーシステム部門 **ハーベス HL-P3ES-2 ¥198,000 (pair)**

photo:K.Kazama



型式	密閉型(防磁)
使用ユニット	[W]11cm[T]19mm
出力音圧レベル	83dB
再生周波数帯域	75Hz~20kHz
クロスオーバー周波数	3200Hz
公称インピーダンス	6Ω
入力端子	バイワイヤリング、バイアンプ対応、バナナプラグ対応
大きさ	188W×305H×198Dmm
重さ	5.9kg
問い合わせ	エムプラス コンセプト ☎045(845)7639

***試験機：Ser.P31915L/R**

【プロフィール】ハーベスはBBCのモニター、かつては日本でも大変な人気モデルだったLS3/5Aも手がけている。時代の流れに沿って新しい技術が導入され、このサイズをそのままにHL-P3を登場させ、わずかながら奥行方向にサイズをアップさせてP3ES、そして今回はすべてに見直しが図られた同サイズのP3ES-2が誕生した。まさにミニチュアモニターで、流れは今日評判の高まっている小型2ウェイとは若干異なり、密閉で設計され能率は抑えながらも大変なワイドレンジを実現させている。ウーファーは11cmのカスタムメイド・ポリプロピレンコーンを使い、トゥイーターは19mmのアルミ・ハードドーム型である。ここに磁性粒体を用い、不要な共振を避け耐パワーを得ている。外観は伝統そのものと言ってよいのだが、フロントバッフルの外側、エッジの部分にアールを施し、視覚的な柔らかさと、若干ながら回折的な効果もあるという。●石田

能率も低くアンプの力が必要だが、ワイドレンジ感や伝統の小型モニターの系統と見て良さそう。密閉型のため量感で満足させる低域とは異なり密度感で聴かせる。全体としてはやや緊張感を伴った音といえそうだ。音楽を心地よくのびのびと聴かせるというよりも、スコアにある音を漏らさず表現しようという印象が伝統のモニター感覚につながるようだ。オーケストラはやや箱庭的ながらそれなりに感じさせ、漏らさず聴かせるが音量をやや上げたくなる。ボーカルは高域が少々強めで、アンプとの関わりもあるが、声を張ったときに中高域に若干のキャラクターを感じさせるようだ。基本的にネットは装着して使うが、その影響力はほとんど感じさせない。

●石田

対価格総合評
7.8

トータルバランスに優れた質感が好ましい。チェンバロなどでは弦の振動する様が見えているかのような描写力があり、フルートの太い骨格には響きの美しさがあって楽しい。ストリングスのステージにはバランス感覚の良さがある低域の雰囲気も悪くない。クラリネットの木質感も良好である。明瞭なイメージのピアノ伴奏と若干細身かもしれない声楽のコントラストは印象的である。華麗さと明瞭度の高いオーケストラの展開には細やかな音の表情もあって、重低域の雰囲気も悪くない。パーカッションの軽快な弾み感には無理のないバランスを聴くことができる。ウッドベースやジャズボーカルの表情も良い感じである。ブラシにもマスがある。

対価格総合評
7.8

能率の低いミニチュアサイズのスピーカーなので音圧を出すには難しさもあるが、クラシックのアンサンブルを比較的近接した条件で聴くと、ステージの広がりやスピーカー後方いっぱい広がり、各パートが整然と現れる。音を前方でダイナミックに結ばせる力や陰影の深さはもうひとつに感じるが、プログラムに含まれる正相と逆相成分の差をはっきり出す特徴があり、間接音成分が広がるのはそうしたことが効いている。色彩、明るさは控えめなナチュラル基調で、質素な音質の中に強調のない表現を聴かせる。低域はダンピングの効いた分解力があり、このサイズとしては満足できる。最適位置と音量でバランスさせると豊かな雰囲気にも包まれる。

●福田

対価格総合評
7.3